土質ボーリング柱状図（オールコア）

調　　査　　名　陰平川通常砂防事業に伴う業務委託

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　道路　構造物基礎

ボーリング名	No.6	調査位置	広島県福山市駅町後地	北　緯	34° 23′ 41.4766″
発注機関	広島県東部建設事務所	調査期間	令和3年 9月 8日～ 令和3年 9月10日	東　経	133° 22′ 31.8002″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 67.30m	角度	180 上 90 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	6.00m	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：YBM-05型 / エンジン：ヤンマーディゼルNFD-9 / ポンプ：東邦地下工機GP-3

標尺（m）	標高（m）	深度（m）	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対稠度	コア採取率（%）／最大コア長（cm）	記事	孔内水位／測定月日	原位置試験 深度（m）	原位置試験 試験名及び試験	試料採取 深度（m）	試料採取 試料番号	試料採取 採取方法	室内試験	削孔 削孔月日	削孔 削孔速度（cm/h）	削孔 孔径・孔壁保護	削孔 コアチューブ・ビット	削孔 給圧（MPa）	削孔 回転数（rpm）	削孔 送水圧（MPa）	削孔 削孔・送水量（L/min）	削孔 排水量（L/min）
	66.90	0.40		礫混り砂		明褐～暗灰			GL-0.0～0.2m付近は、グラウンドの表土。マサ土主体。 GL-0.2～0.4m付近は、礫分がやや多い砂。礫種は泥岩。 全体的にやや風化している。 泥岩部は風化が進行し、礫状～片状コアが主体となる。 砂岩部はやや風化しているが、比較的硬質で短柱状～棒状コア主体となる。 GL-1.7～2.0m付近は、棒状コアとなりやや硬質となる。 GL-3.8～4.5m付近は、棒状コア主体となりやや硬質となる。 GL-5.3m以深、片状～短柱状コア主体となる。やや軟質である。								9/8	800	66／ケーシング	S/BC HW DI	0	60	0	W3 0	0
1																		26			0	220	0	W3 4	4
																		47		HW／DI					
2						暗灰												80			0	220			
3				粘板岩													9/9	82							
																		88							
4						～												100			1	220	0	W3 4	4
5																		92			0	220			
6	61.30	6.00				黒											9/10	86			0	220			
7																									
8																									
9																									
10																									
11																									